

2017年2月 東京23区 - 0.1%で引き続き弱含み 築浅事例では賃料調整続く

三大都市圏・主要都市別/分譲マンション賃料月別推移

首都圏2月 前月比 - 0.6%の2,666円/㎡ 東京23区は - 0.1%と引き続き弱含み

大阪市では5ヵ月ぶりに2,300円台を回復 名古屋市では小幅に上昇、底入れの兆しも

2017年2月の首都圏・分譲マンション賃料は、前月比 - 0.6%の2,666円/㎡と3ヵ月連続で下落した。都県別で見ると、東京都では - 0.6%の3,166円/㎡と緩やかな下落傾向で推移し、埼玉県 (- 0.5%、1,589円/㎡) でも3ヵ月ぶりに弱含んだ。神奈川県では築浅物件からの事例が増えたにもかかわらず、+ 0.1%の2,059円/㎡と僅かな変動に留まった。一方、千葉県では賃料水準が高い市川市や松戸市などで事例数が増えた影響もあり、+ 2.0%の1,560円/㎡と比較的大きく上昇した。

近畿圏では前月比 + 0.3%の1,764円/㎡と僅かながら3ヵ月ぶりに強含んだ。大阪府では横ばいの2,000円/㎡で、ここ半年間は2,000円前後で安定した推移を示している。一方、兵庫県では + 0.7%の1,629円/㎡と3ヵ月ぶりに上昇しており、神戸市をはじめ阪神間に位置する行政区での堅調さが反映される形となった。

中部圏では前月比 + 1.0%の1,544円/㎡、愛知県では + 0.8%の1,578円/㎡と、ともに3ヵ月ぶりの上昇となった。前年同月比は依然としてマイナスが続いているものの、正味のトレンド自体は底堅い推移になりつつある。